

評価の理由として、何ができていて、何ができていないかなど具体的に記載。

■施策の展開

No.1	消防体制の強化		
実施状況	施策項目ごとの取組状況、成果について数値変化や整備された施設など、客観的な状況を記載。		<新たに実施した取組み> ○消防車両の購入(H28-H30) ○ (H29) 前期計画期間に新たに実施した取組を記載。
課題	成果が上がっていない点や必要な取組、実施方法に関する課題などを記載。		
取組みの方向性	主な取組み	方向性	備考
	○消防職員の資質向上	継続	前期計画の方向性を予め記載。必要に応じて方向性を変更。
	○消防団の人員確保・体制の充実	継続	
	○消防団との連携強化	充実	新たに必要となる取組があれば必要に応じ記載。
		新規	
No.2	消防施設・設備の適切な運用		
実施状況			<新たに実施した取組み>
課題			
取組みの方向性	主な取組み	方向性	備考
No.3	火災予防対策の推進		
実施状況			<新たに実施した取組み>
課題			
取組みの方向性	主な取組み	方向性	備考

No.4	救急・救助体制の推進		
実施状況			<新たに実施した取り組み>
課題			
取り組みの 方向性	主な取り組み	方向性	備考

■関連する個別計画

計画名	計画期間	変更の有無・内容
河内長野市地域防災計画	H26年（改訂）～	前期計画にある計画名、計画期間を記載済。変更がある場合は修正・追加。

■外部評価結果

(各年度の行政評価に対する外部評価)

	評価区分	妥当	概ね妥当	要検討	備考
H28	妥当	3	2	0	
	意見	(特記事項なし) 毎年の外部評価結果をあらかじめ記載			
H29	妥当	4	1	0	
	意見	・住民自治の再活性と連携した施策への転換が必要であるが、行政の努力は評価する。「満足度」は「信頼度」へ、受講者数は率で評価すべき。 ・出火率の増加が見られますが、地域での取り組みの強化が必要だと考える。そのためのコミュニティ参加を促す支援策の充実が期待される。			
H30	妥当	3	2	0	
	意見	・出火率の減少と救命講習等の受講者数の伸びは評価できる。 ・高齢化の進展に伴い、救急件数が増加してきている。10年後の救急需要の予測に基づく救急体制の整備を検討していただきたい。			

(前期計画評価に対する外部評価)

総合評価 (二次評価)	評価の理由
	令和2年4月の行財政評価委員での評価、意見を記載。
後期基本計画に向けた提案	